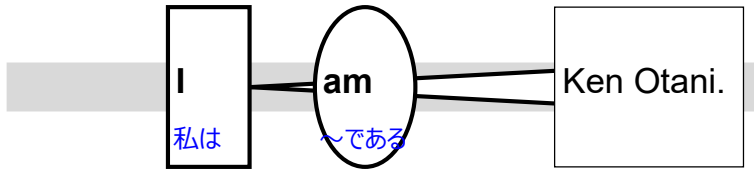


◆ I am Ken Otani.

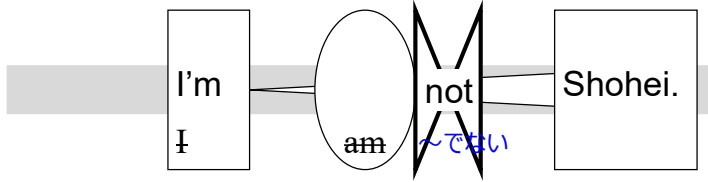
私はオオタニ ケンです。



- ◆ be動詞の文 <主語 + be動詞 + a > 「主語はaである」
- ◆ I:私 が主語ならbe動詞は am

◆ I'm not Shohei.

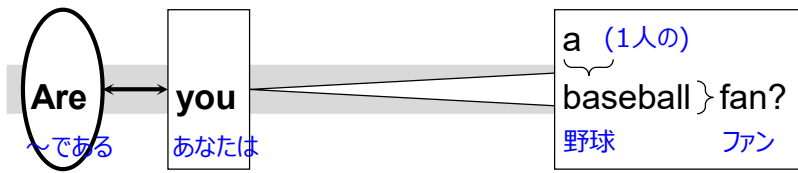
私はショウヘイではありません。



- ◆ be動詞の後に not を置くと「～ではない」と否定する文になる
- ※ I'm : I am の短縮形

◆ Are you a baseball fan?

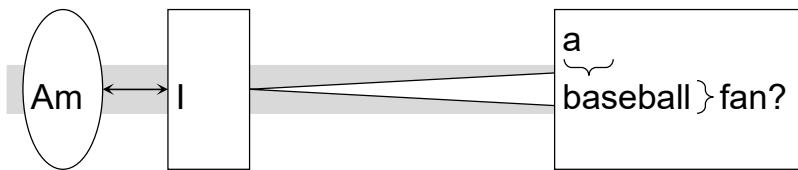
あなたは野球ファンですか。



- ◆ be動詞は主語(最初の□)と順序を入れ替えると質問する文になる
- ◆ you:あなた が主語ならbe動詞は are

◆ Am I a baseball fan?

私は野球ファンですか。



- ※ a ~ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時に使う} (1人の/1つの) ~ a はふつう訳さない

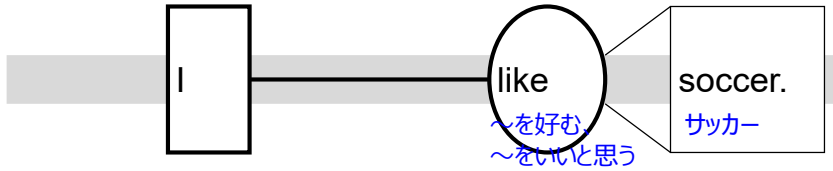
◆ No, I'm not.

いいえ、私はそうではありません。

いいえ

◆ I like soccer.

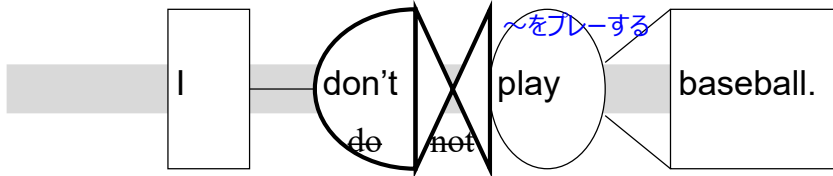
私はサッカーが好きです。



◆ 一般動詞の文 <主語 + 一般動詞 [+β]>
「主語は[βを]一般動詞(～する)」

◆ I don't play baseball.

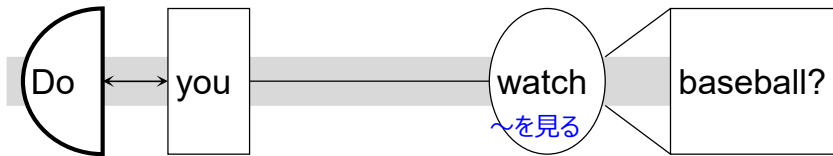
私は野球をプレーしません。



◆ 一般動詞の前に do not を置くと「～しない」と否定する文になる
※ don't : do not の短縮形

◆ Do you watch baseball?

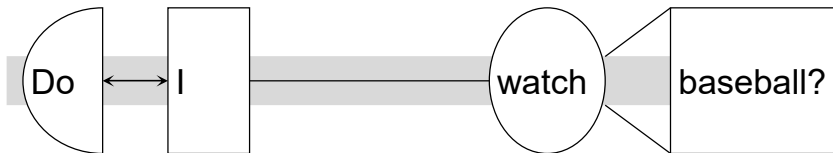
あなたは野球をみますか。



◆ 一般動詞では do を主語の前に入れると質問する文になる

◆ Do I watch baseball?

私は野球をみますか。



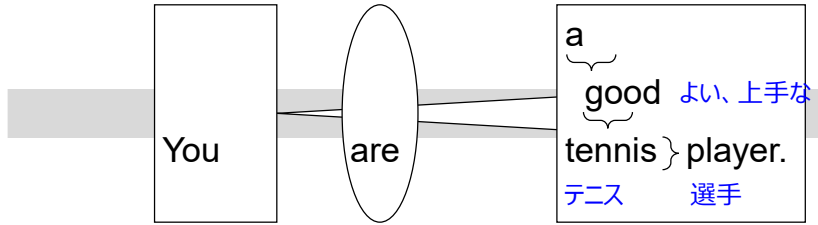
◆ Yes, I do.

はい、私は見ます。

はい

◆ You are a good tennis player.

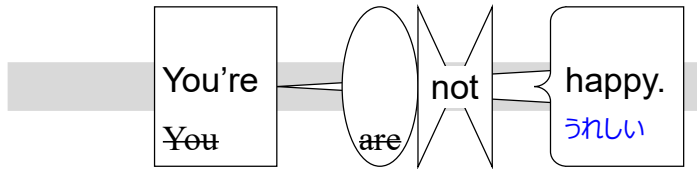
あなたは上手なテニス選手です。



◆ you:あなた が主語ならbe動詞は are

◆ You're not happy.

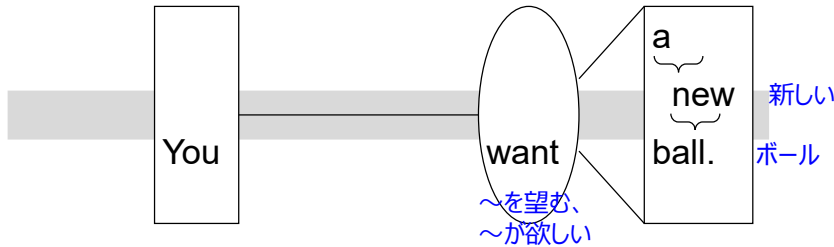
あなたはうれしくありません。



※ You're : You are の短縮形

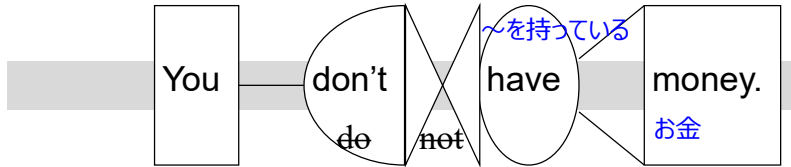
◆ You want a new ball.

あなたは新しいボールが欲しいです。



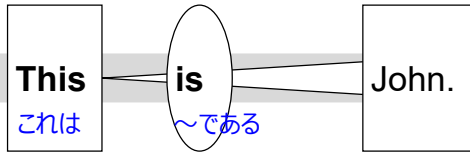
◆ You don't have money.

あなたはお金を持っていません。



◆ This is John.

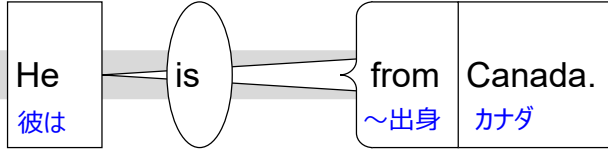
これはジョンです。



◆ I, you 以外の1人/1つ(三人称単数)が主語ならbe動詞は **is**
 例: **it**:それ, **he**:彼, **she**:彼女, **this**:これ, **that**:あれ,
 a dog:(ある)犬, Mary:メアリー

◆ He is from Canada.

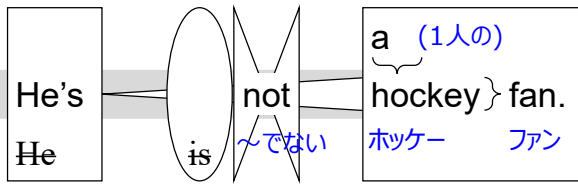
彼はカナダ出身です。



※ from []: [出身地・出所] からの [場所] から from home
 [時間] から ★ 起点 ~から

◆ He's not a hockey fan.

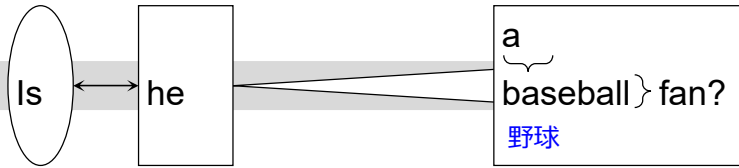
彼はホッケーファンではありません。



※ He's: He is の短縮形

◆ Is he a baseball fan?

彼は野球ファンですか。



※ a ~: {人・物(単体)の一般名・種類を言う時に使う}
 (1人の/1つの) ~ a はふつう訳さない

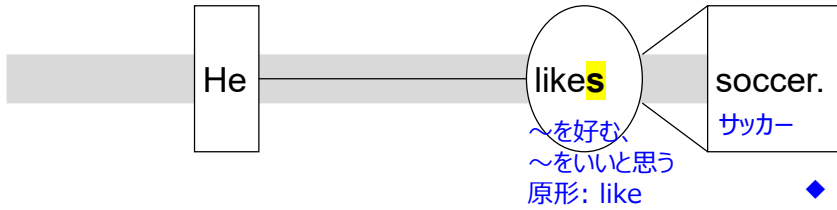
◆ No, he isn't.

いいえ、彼はそうではありません。

※ isn't: is not の短縮形

◆ He likes soccer.

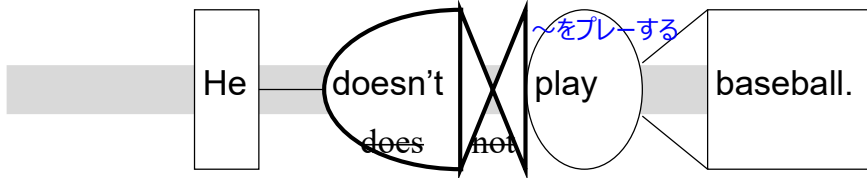
彼はサッカーが好きです。



◆ I, you 以外の1人/1つ(三人称単数)が主語なら一般動詞に"s"か"es"をつける

◆ He doesn't play baseball.

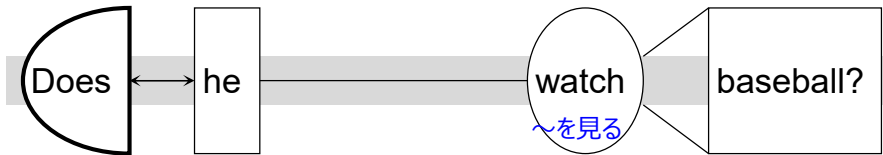
彼は野球をプレーしません。



◆ 三人称単数が主語なら、一般動詞の前に does not を置くと「～しない」と否定する文になる
※ doesn't : does not の短縮形

◆ Does he watch baseball?

彼は野球を見ますか。



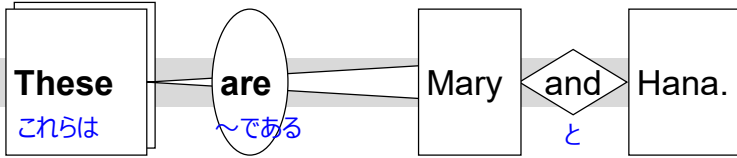
◆ 三人称単数が主語なら、does を主語の前に入れると質問する文になる

◆ Yes, he does.

はい、彼は見ます。

◆ These are Mary and Hana.

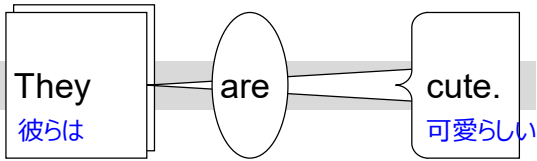
これらはメアリーとハナです。



- ◆ 2人/2つ以上(複数)が主語ならbe動詞は **are**
 例: **they**:彼ら(それら), **we**:私たち, **you**:あなたたち,
these:これら, **those**:あれら,
 dogs:犬, Ken and John:ケンとジョン
- ※ A and B: AとB
 3つ以上を並べる場合は A, B, and C などと書く

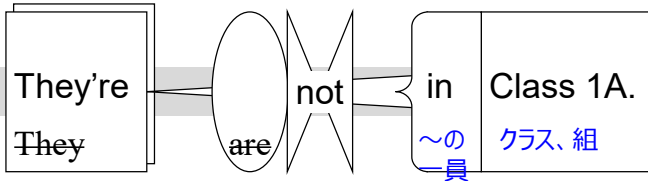
◆ They are cute.

彼らは可愛いです。



◆ They're not in Class 1A.

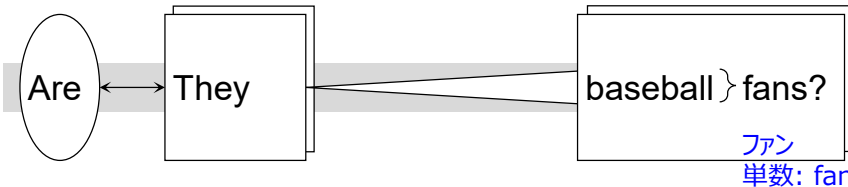
彼らはクラス1Aの一員ではありません。



- ※ They're: They are の短縮形
- ※ in []: [所属先/会員となっている先] の一員で
 [場所] で、の中で [時間帯] に in the morning
 ★ ~の中

◆ Are they baseball fans?

彼らは野球ファンですか。



- ※ 1つ以外 (2つ、3つなど) のものを表すには、その名詞に"s"をつける (複数形にする)

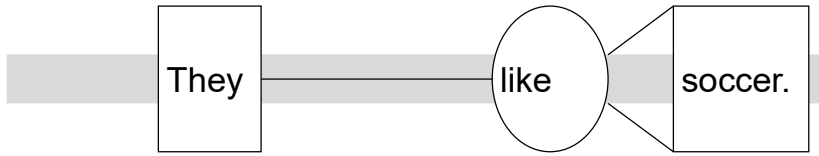
◆ No, they aren't.

いいえ、彼らはそうではありません。

- ※ aren't: are not の短縮形

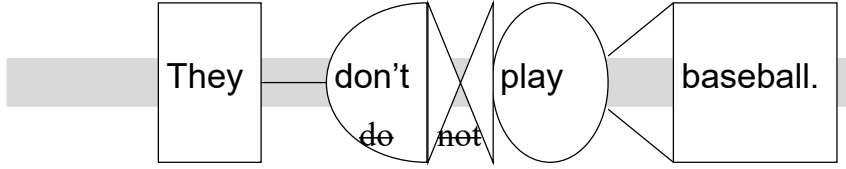
◆ They like soccer.

彼らはサッカーが好きです。



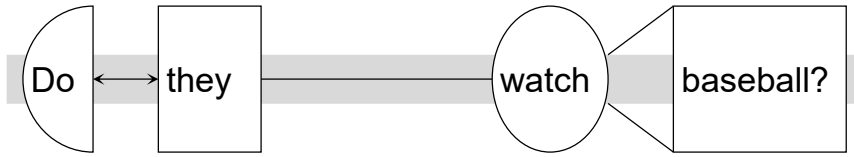
◆ They don't play baseball.

彼らは野球をプレーしません。



◆ Do they watch baseball?

彼らは野球をみますか。

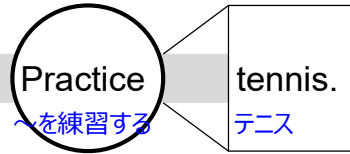


◆ Yes, they do.

はい、彼らは見ます。

◆ Practice tennis.

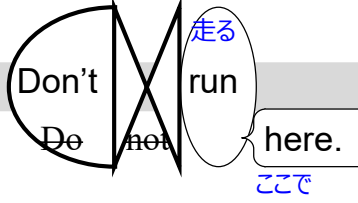
テニスを練習してください。



- ◆ **命令文** <動詞の原形で文を始める> 「～してください」
主語はなし

◆ Don't run here.

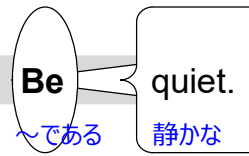
ここで走らないでください。



- ◆ **否定の命令文** < Don't + 動詞の原形で文を始める>
「～しないでください」 主語はなし
- ※ don't : do not の短縮形
- ※ here : ここで *場所や時間の情報は動詞などの後に置くことが多い。(修飾編参照)

◆ Be quiet.

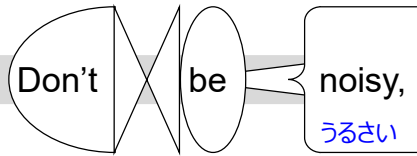
静かにしてください。



- ※ be動詞の原形は be

◆ Don't be noisy, please.

うるさくしないでください、どうか(頼みます)。



- ※ please : 依頼を丁寧にする時に使う